

再生

再生の題字（森迪彦様提供）は、森信三先生の直筆です。



師友道友の活動を綴る善行伝承誌

明治以後われらが民族に欺くばかり

清しき生命かつて生れしや

（宮沢賢治）

森信三先生あいうえお語録より



写真提供：浅井周英先生

第0037号

2019.9月号

令和元年

実践人福岡仁風読書会

現代における考の哲理

森 信三先生 講述

— マナコを閉じて親の祈り心を —

三 親として子どもの幸福・繁栄を願わぬものはない

親の折り心

ところでこの愛・敬については、申すまでもなく自・他を愛し自・他を敬するということですが、特にこの敬ということを、今日のわたくしたちは、とかく忘れていくように思われてなりません。わたくしたちが、人の氣持の察しのつかないのも、また親の折り心がわからないのも、お互い人間本来めいめいの内に持ちあわせている敬の心が眠っているからではないでしょうか。

今かりに世界の人口を四十億として、わが一身の將來を気づかい、良かれしと日夜念いつづけてくれる人はそうザラにはなく、しかもその最大なる人は、親をおいて他にあまり見うけられないのではないのでしょうか。いや、友があり、恩師・先輩があるとと言われる方もありましょうが、しかし一部の例外は別として一般的に考えて、親をもつて最大最深の人と思わざるを得ません。にも拘わらず、親心のありがたさに目覚めることの難しいのは、一体どこにその原因があるのでしょうか。それは結局自他に対する敬愛の念に乏しいからだろうと思われます。もつとつづめて申しますと、自分の人生について本当に真剣に考えていないからだと思われます。

それをさらに言い換えますと、結局さういふのは、このいのち わが “生” の尊さに思い到つてないからだと言えましよう。二度とない人生の意義に目覚め、“めぐりあいのふしぎ”に手をあわせる人であつたら、親の折り心への察しもつくはずだからであります。

これは何も若いあなた方にお説教しているといふよりも、わたくし自身を反省して申しているのでありまして、いわば自分自身の懺悔の気持ちをふくめて申しているわけであります。

「われわれ人間は、それぞれ自分の中に親をもっている」ということです。

このコトバが心の底からうなずけ、かつ自分の生活がその根底の上に成り立っているような人——それが真の孝子と云えましよう。同時にそういう人は、友人その他あらゆる人から見てもよく出来た人でありリッパな人と見られることでしょう。それはその人は親を思い大切にすることによつて一ばん根本の「我」が消えるからであります。

では何ゆえ人間には親が根本かと云うに、それは自分の血液の元は親の血液であり、そのうえに、この世で自分のことを一ばん深く思つてくれているのは親だからです。

実践人福岡仁風読書会 第34回 8月10日(土)

場所福岡県糟屋郡志免町向ヶ丘2丁目4番3号 仁風庵にて

(実践人の家の会員であればどなたでも参加できます)

(参加費無料) 詳細は、世話人へお問い合わせください。



福岡空港ミオン清掃に福岡仁風読書会 2019/8/10

図書館建設

郷土というものは全く有難いものである。夜須高等時代の教え子諸君も働き盛りとなり、そのお子たちも学童として学校に来ていた。あの時の父親たちは皆村の要職を占め、中学時代の同窓生や、青年団時代の友人がその中間にあつて後援するといった具合で、最初から応援態勢ができていた。

もともと、三並校は夜須教育で一特色があつて、浦山校長時代、名校医の時枝先生と力を合せて保健教育の模範校で県の表彰も受けている名門である。私は何かの時に子どもの頃三並校に行ったことがあるが、その学校環境の見事なことに驚いたことを子ども心にはつきりと覚えていた。けれども私が行った頃は、校舎の一部改築のために昔の面影は既になかった。私はそれを何とか再現せねばならない使命のようなものを感じ、PTAと少し宛整備にかかった。運動場の桜は今も見事な花を咲かせているが、校庭には往年の名木名石が未整備のまま残つていて昔が偲ばれた。わけても柵の名木が多いので、柵学園と言つたらどうだろうと言つた人もある。校門脇の大松が手入れもされず荒れ放題になつていたので選定して貰つたら、一時非常に弱つたので心配だった。

校長は、その学校の歴史を尊ばねばならぬと思つていたので、各種の記録を調べているうちに、三並校は明治三十一年の創設であることを知った。さすれば、昭和三十三年は、六十周年に当たるわけである。私は何か記念事業をお願いしたいと考えPTAに相談した。その前にあらあら特に学校に理解のある有志に意見を伺つたり後援をたのんでおいた。時のPTA会長は、往年甘木小学校長を勤められた焼山峯太郎先生で大いに共鳴していただき、村議、部落長、後援会を中心に協議を重ね、独立図書館を建設することにした。資金予定壹百貳拾万円とし、地元、校区外卒業生、村当局で各三分の一宛を目標として募金に当たったが、各種の困難を乗り越えて予想を上回る額に達した。

私は、かねがね夜須村民の一人として、この風光明媚な山間部と大田田園地帯を基にして永年先輩が築いてきた夜須魂を伝承し発展させたい念願をもつていて、夜須高等時代にそうした腺に沿つて教育したことは、さきに書いた。その夜須魂は、清廉、潔白、熱情、団結、敢為敢斗などの長所美点を中核とするものと信じているが、今後それに加うるものがあるなら、それは何かということを考え、近代社会に於いては、すぐれた英知と、豊かな情操ではないかと思つて、その両面に培うものとして、図書館を扱んだのが、第一の理由だった。

第二の理由は、夜須村には夜須高等小学があつたため、新制中学ができて、各小学校には特別教室が一つもなかった。夜須の小学校の課題解決の第一歩として図書館建設を扱んだのであった。

翌年は、東小田校、中牟田校とも五十周年にあたり、同様に記念事業として、更に取りつばな理想的な図書館が何れも竣工し、遂に夜須中学校も全町を対象とした募金により、見事な図書館が出来上がり、全町挙げて図書館教育が盛んになり、昨年までに、東小田校は文部大臣賞、中牟田・三並は九州地区優秀賞、夜須中学も県努力賞に輝き、内容も年とともに充実していった。PTAの協力もすすみ、親子二十分読書運動もモデル地区として、日を追うて実を結びつつあり、教育熱は全町をおうようになったのは有難いことであつた。

建築については、図書館の特殊な使命もあり、子どもが自分からすすんで行くように魅力的に美しくすることも考え、塗装にも工夫をこらした。私はひそかに、この建築から、校舎全体の美化塗装に発展するように念願していたが、その後、建築界の進歩と合わせて、改築される新校舎はもちろん、古い校舎も塗装されたり、赤瓦に葺き替えられたりされて、校舎の感覚は一新し、子どもたちの学習意欲も清純に又強烈になつて行くものと喜んでゐる。御協力の皆様にもお礼を申し度い気遣いである。



大分よりYさん参加



実践人の家 尼崎不尽掃除に学ぶ会

8月25日(日曜日)



第114回 冷泉公園&櫛田神社早朝清掃

8月11日(日曜日)



冷泉公園

5名参加



櫛田神社

5名参加



日本一きれいな博多駅・福岡の街に！

第309回

博多駅 早朝清掃

毎月**8**日 午前6時15分～

【第一回】平成5年12月8日開催

福岡実践人・JR九州博多駅
精華女子高等学校・福岡掃除に学ぶ会

 **ハウスマイト**



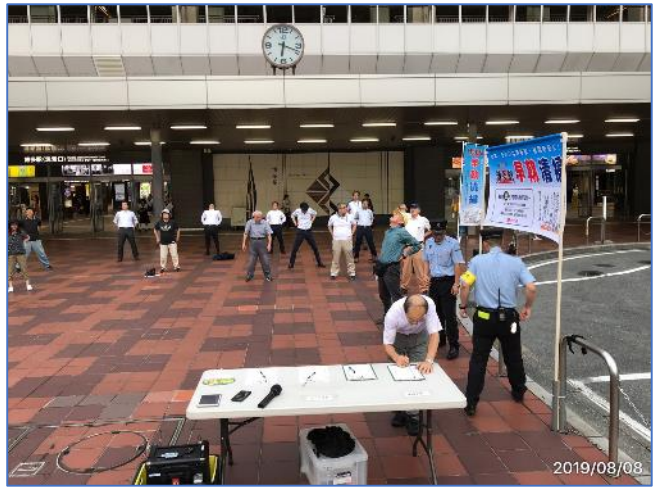
第309回 博多駅早朝清掃

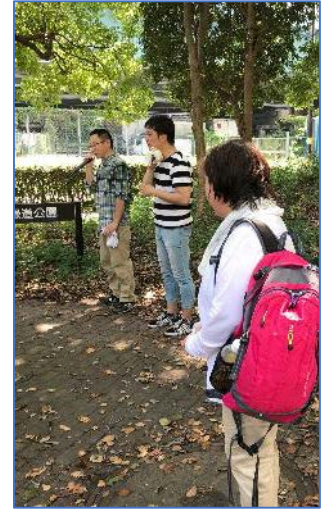
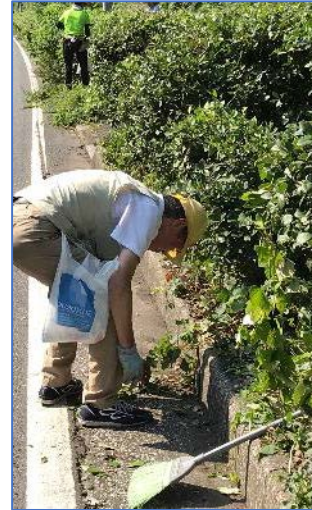
8月8日(木曜日)

95名参加



平成21年8月8日、初参加（当時1才7ヶ月）以来、幼稚園、小学校と参加（累計100回以上）させていただいて参りました。10年後のこの日、司会進行役を務めさせていただきました。博多駅早朝清掃に育てて頂いた小学6年生です。





「羽田街道おもてなし清掃」に参加させていただきました。8月4日（日曜日）

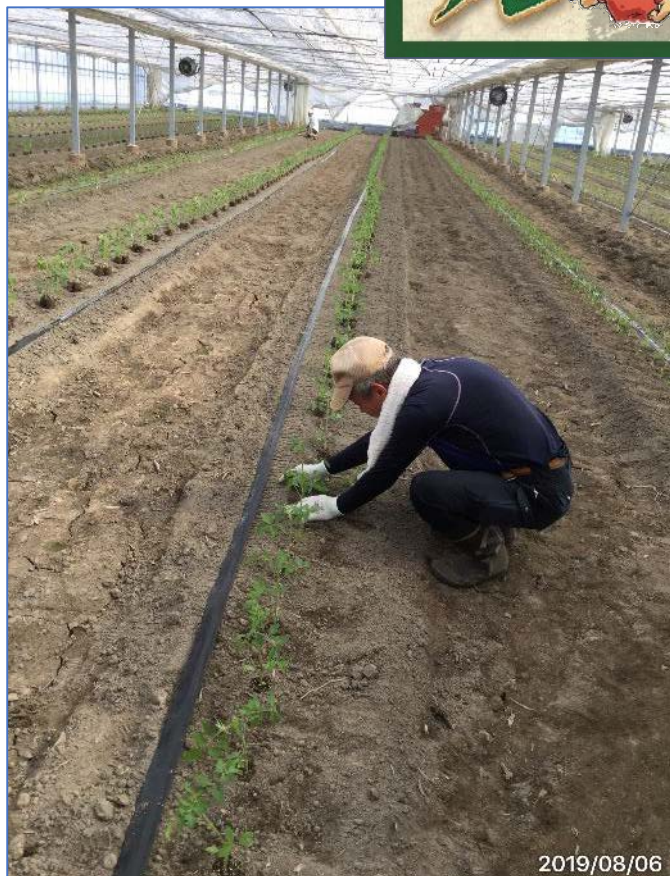




5月20日に定植した深谷ネギ、約2ヵ月でこんなにも成長しました。 8月6日



2019/08/06



2019/08/06

早朝4時、Iさんと滞在地の川越市を出発し深谷市のOさんのトマトハウスへ直行。Oさん家族と2900本のミニトマトの苗を定植。 8/6



2019/08/06



2019/08/06

一本一本でいねいに、美味しく育てよと声かけながら植付させていただきました。農が作りだすご縁。埼玉と鹿児島の新しい絆誕生に感謝



埼玉県川越市の水稻の生育状況。日照不足の影響を受けながらもしっかりと根を張り、栄養を貯え秋の実りの準備をしているようです。8/2



福岡で、農業を生産者の立場から応援しようと始めた「博多笑仲クラブ」が、川越市の農業支援者によって始めた「川越笑仲クラブ」です。この日は、隣町の狭山市からもHさんが参加して頂き、農家の皆さん、種苗問屋さん、支援者の皆さんで賑わいました。8/2



6月末の鹿児島豪雨に続く九州の大雨で、自分の畑の草刈りが疎かになってしまいました。→ようやく手入れを行うことが出来ました。8/18

この日記は、宗次郎二二歳から九二歳で昇天するまでの七〇年間にわたるものです。ところが、これはそのほとんどが未発表で、その一部が、生前に宗次郎が書いた「自伝」などに出てくるだけです。斎藤宗次郎は晩年になつて「二刊自叙伝」を著わすのですが、それに長年かきつづつてきた自分の日記の一部を引用しているんです。

昨年（一九九五年）この宗次郎を記念する展覧会が花巻の宮沢賢治記念館で行われて、賢治との交渉を示す日記の一部分が展示されていましたが、まだまだたくさん賢治に関する記述があるんだろうと思います。いずれにしても、この宗次郎の日記にもとずいて、研究者たちが少しずつクリスト者、斎藤宗次郎と宮沢賢治の関係について研究を行い、ここ一〇年くらいの間にいろいろの論文が書けるようになりました。そういうものによつて、私もじつに多くのことを教えられてきたわけです。もう一つ大切なこととして、斎藤宗次郎のお孫さんの黎子さんの夫、山本泰次郎さんが一九八一年に「内村鑑三とひとりの弟子―斎藤宗次郎あての書簡による―」という書物を教文館から刊行されています。山本さんは内村鑑三の門人の一人ですが、この山本さんの書物によつて、私はまた斎藤宗次郎と宮沢賢治の関係を新しく知ることになりました。そういうところから私は、しだいに賢治とクリスト教との関係に関心をもつようになったわけです。ここではその山本さんの本によつて、賢治と宗次郎の関係を少し紹介してみたいと思います。それによると宗次郎の新聞配達の様子は一風変わっていたといふ。たとえば彼が新聞配達に出かけるときには、つねに

お菓子と小銭をポケットに用意していて、行く先々で、子どもたちに会うとお菓子を与えたり、金のない貧乏な子にたいしては小銭を与えていた。それだけではなく、乞食や貧乏な人がいれば、そこにわざわざ出向いて行って、必要に応じて小銭を恵んだりしていた。病気で寝込んでいる人がいれば、やはりその家をわざわざ訪れて、慰めの言葉をかける。そういう変わった新聞配達のやり方をずっと毎日のように続けていたというんですね。

道行く人々、花巻の人々はそのような宗次郎の姿を見て、先生、先生といっていた。それにたいして宗次郎のほうも帽子をとつていねいに応じていたという。そういう宗次郎の後ろ姿を見て、街の子どもたちは、「ヤッハゲアタマ ヤッ ハリツケ」とはやし立てていたという。ところがそのうち「名物買うなら花巻おこし 新聞とるなら斎藤先生」とまで歌われ、子どもたちから愛されるようになった。花巻おこしというのはおいしいお菓子です。そして「新聞とるなら斎藤先生」とまでいわれるようになった。この噂が東京の新聞業界にもだんだん広まって、斎藤宗次郎の誠実な新聞配達のやり方が噂になります。それで画家の中村不折などは、斎藤宗次郎のことを「花巻のトルストイ」と呼んでいたという。

（次号へつづく）



テクノボーの世界 山折哲雄 より

創造の世界 一九九六年 第一〇〇号

発行所 小学館

二〇一九年八月一〇日



再生九月号

令和元年九月八日発行（毎月一回八日発行）創刊 平成二十八年九月一日 発行人 富吉袈裟右衛門

	8月		9月の活動予定表												10月の活動予定表								
日	30	31	1	1	7	7	8	11	13	15	16	27	28	29	30	5	5	6	6	8	11	18	26
曜	金	土	日	日	土	土	日	水	金	日	月	金	土	日	月	土	土	日	日	火	水	金	土
行事活動名	沖縄県より楽農人視察	新飯塚駅早朝清掃 トイレ磨き	榎田神社トイレ磨き	冷泉公園トイレ磨き&ゴミ拾い 第116回	福岡空港ミリオン清掃 第16回	仁風読書会	博多駅早朝清掃 第310回	Vegeta 穂農業支援	菅刈公園 早朝清掃	ヒトの教育の会 夏期合宿 2019	鹿児島 農業支援活動	鹿児島 離島振興支援活動	鹿児島 農業支援者案内	鹿児島 高齢農家支援活動	鹿児島 農業支援者案内	福岡空港ミリオン清掃 第17回	仁風読書会	榎田神社トイレ磨き	冷泉公園トイレ磨き&ゴミ拾い 第116回	博多駅早朝清掃 第311回	Vegeta 穂農業支援	大正村掃除に学ぶ会 年次大会	新飯塚駅早朝清掃
場所	福岡県の楽農人関連農場	福岡県飯塚市	榎田神社	冷泉公園	福岡空港 周辺一万余	福岡空港 月隈第一緑地	博多駅筑紫口	埼玉県川越市	東京都目黒区青葉台	九大医学部百年講堂	鹿児島県	薩摩川内市里町	鹿児島市内く始良市	始良市浦生町	南九州市姪佳町	福岡空港 周辺一万余	福岡空港 月隈第一緑地	榎田神社	冷泉公園	博多駅筑紫口	埼玉県川越市	岐阜県恵那市	福岡県飯塚市
開始時刻	終日	6時30分	6時	6時40分	6時30分	8時30分	6時00分	11日〜14日	5時30分	13時30分	終日	終日	終日	終日	終日	6時30分	8時30分	6時	6時40分	6時00分	11日〜22日	18日〜19日	6時30分
運営団体	NPO法人楽農人	いづつか掃除に学ぶ会	福岡掃除に学ぶ会	福岡掃除に学ぶ会	福岡掃除に学ぶ会	福岡実践人	福岡掃除に学ぶ会	NPO法人楽農人	鍵山事務所	ヒトの教育の会	NPO法人楽農人	NPO法人楽農人	NPO法人楽農人	NPO法人楽農人	NPO法人楽農人	福岡掃除に学ぶ会	福岡実践人	福岡掃除に学ぶ会	福岡掃除に学ぶ会	福岡掃除に学ぶ会	NPO法人楽農人	NPO法人楽農人	いづつか掃除に学ぶ会

発行人(編集人) 富吉 袈裟右衛門

- ◇福岡掃除に学ぶ会/認定NPO法人 日本を美しくする会
- ◇福岡仁風読書会/一般社団法人 実践人の家
- ◇仁風自然塾/特定非営利活動法人 楽農人

〈合同事務局〉 〒811-2247

福岡県糟屋郡志免町向ヶ丘2丁目4番3号 <<仁風庵>>

TEL 092-931-8155(掃除) 931-8150(読書) FAX 092-931-8120

E-mail fukusukai@souji.link (掃除) agri@kesajin.link (農業)



「再生」に掲載している写真は、富吉が撮影・管理しています。必要な方は事務局までご連絡ください。